

# 技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.31 2018/3/23

## 日本橋展示会に三日間 4千人超の入場者！

東京のど真ん中日本橋で、与板の優れた打刃物をPRする展示会を開いてから、今回でついに6年目を迎えました。

ちょうど出かける2月9日は、近年まれにみる大雪に見舞われた与板町。後ろ髪を引かれる思いで皆不安いっぱいでしたが、さすが東京は春の陽射しの下大勢のお客さんが訪れて下さり、この展示会がすっかり定着したことを感じさせて貰いました。



穏やかな好天に恵まれた三日間、包丁研ぎの依頼数も過去最高の59本を数え、研ぎ役の高木さんは大忙し。また、カンナ削りとノミのキツツキ体験では、初参加の協力隊員島田くんのソフトな接客術で、子供や若者が興味を示して取り組み大人気でした。

これだけ人を集める展示会は「食べ物」以外の分野では珍しい、とのこと。毎年楽しみに訪れて下さる刃物ファンがいらっしゃるということに、心から感動と感謝です。終わってみれば、入場者数では過去2番目、売上でも過去3番目の上々の成果でした。

皆さんお疲れ様でした。東京での頑張りが、その後の与板に春の訪れを速める結果になったのかもしれないね。

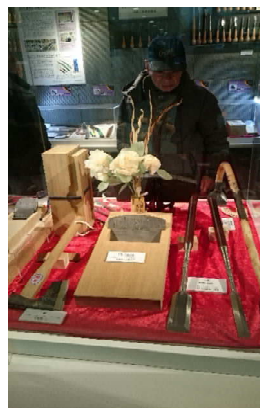
## 日新製鋼ギャラリー「越後与板の打刃物」



中心ビジネス街有楽町駅前にある「NECギャラリー」で開催中の展示イベントを、日本橋展示会初日に全員で見学しました。

このギャラリーでは、日本の優れた金属技術を精選して紹介していますが、4月半ばまでの期間「大工道具鍛冶の仕事」と称して越後与板打刃物の歴史と伝統の技術に培われた製品各種を展示解説しています。

ギャラリーで展示したいとの申し出をいた



だいた時はびっくりしましたが、スッキリと洗練された分かりやすい展示で、広く都会の人々に知っていただくことは大きな意義があると考え、嬉

しい限りです。

会員の体調を気に懸けながらも、29年度の活動は体験工房の始動もあって一層充実した一年となりました。30年度の活動についても各団体と協力連携しつつ、一つ一つ着実に足跡を残して行こうではありませんか。